

高等学校 令和7年度（4学年用 高等学校1学年） 教科 情報 科目 情報I

教科： 情報 科目： 情報I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組～ D 組

使用教科書： （ 情報I（日本文教出版） ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、情報科学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、情報社会と人との関わりについて学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】 情報技術を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 情報I の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
効果的なコミュニケーションの実現、情報科学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、情報社会と人との関わりについて学ぶ。 ネットワーク技術の原理や応用方法を学び、それが現代社会に果たしている役割について考察する。	情報技術を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる力を養う。 プログラミング言語における変数や関数、変数の型の概念、リストや配列変数の意味と考え方などを理解し、日常的あるいは社会的な諸課題への利用方法についても考えさせる。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 速度入力などの練習などを通じて、情報機器の活用に慣れ親しむ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	情報Iを学習するために情報科学全般の基礎知識の確認と理解を深める。情報化社会が抱える様々な問題を考察することで、今日的な問題意識を広げる。	第1章-1 情報の特性 第1章-2 メディアの特性 第1章-3 問題解決の考え方 第1章-4 法の重要性と意義一著作権 第1章-5 法の重要性と意義一個人情報 第1章-6 情報社会と情報セキュリティ 第1章-7 情報技術の発展による生活の変化 第1章-8 情報技術の発展による社会の変化	情報科学全般の基礎知識の習得 情報社会の抱える問題への理解 情報機器の活用方法の理解	○	○	○	17
	情報科学の専門的な事柄を理解させ、プログラミングの技術などをわかり易く指導する。 情報のデジタル化についての基本的な概念を理解させる。	第2章-1 メディアとコミュニケーション 第2章-2 情報のデジタル化 第3章-3 情報デザイン	情報科学の専門的な事柄の理解 プログラミングの技術が身についているか	○	○	○	18
2 学 期	アルゴリズムとプログラムの関係の理解。 より合理的なアルゴリズムを考えることの重要性 様々な課題についてのシミュレーションによるアプローチを経験する。	第3章-1 コンピュータのしくみ 第3章-2 アルゴリズムとプログラム 第3章-3 モデル化とシミュレーション	アルゴリズムの重要性を理解できているか アルゴリズムによるプログラミングに対応できるか 具体的な諸課題への技術の適応能力	○	○	○	18
	情報通信ネットワークの仕組みを理解させる。 情報通信ネットワークの活用方法やその注意点を理解させる。	第4章-1 情報通信ネットワークのしくみ 第4章-2 情報システムとデータベース 第4章-3 データの活用	情報通信ネットワークの仕組みの理解 情報通信ネットワークの活用方法の理解	○	○	○	17